

# 自立支援サポートブック『よろしくね』 (平成28年5月改訂版)について

サポートブックは、子どもの知っておいてほしい特性や接し方などを、担任の先生やボランティアといった子どもの支援者に伝えるためや生涯にわたって必要となる記録を残すための冊子で、生涯にわたり活用するものです。

小学校や中学校への進学、担任の先生が変わるとき、新たな福祉サービスを利用するときなど、これまで、支援者が変わるたびに説明してきたことが、サポートブックを使うことで、支援者に子どもの特性や接し方などを正しく伝えることができ、子どもが地域で安心して過ごす際の大きな助けとなるものです。

サポートブックは、ご家族の方が記入し管理するものです。サポートブック『よろしくね』は以下の4部から構成されます。

1. 必ずあるとよい記録や情報…変わらない情報
  - 母子手帳、予防接種の記録
  - 病気や障がいに関わる診断を受けた時の診断書や記録
  - 身体障害者手帳や療育手帳など交付されたもの
  - 保育歴や療育歴がわかる記録
2. 園や学校など、新しい場面で役に立つ記録や情報…現在の状況
  - 本人の履歴事項
  - 健康状態やアレルギー、持病や投薬など
3. 育ちの様子を知る上で、あるとよい記録や情報…発達の変遷
  - 園や学校で作成された個別支援計画や評価表
  - 1年に1枚程度のスナップ写真
4. 支援機関の情報
  - 困ったときの相談先や事業所の情報
  - 障がい年金や成年後見制度
  - その他、福祉サービス等の情報